

食育だより 第6
 ヒンナヒンナ

ヒンナとは、アイヌ語で「食べ物に感謝する」という意味です。「いただきます」「ごちそうさま」という意味合いもあります。「命をいただきます」「心づくしをごちそうさま」という感謝の気持ちを大切にはぐくみたいですね

令和5年6月30日 清水町
 (不定期発行)

新型コロナウイルス感染症が5類の扱いとなり、少しずつ日常を取り戻してきました。成長発達が著しい時期の子どもたちにとってマスクや黙食等の感染対策は必ずしも良い事ばかりではありませんでした。大人が口を動かす様子を真似したり、顔を見合わせて「おいしいね」と心を通わせたりしながら食べる姿を取り戻していきたいなと思います。

さて、今回はこども園での食を支えてくれる給食室を取材しました。6月からは技能実習生を迎えて調理にあたっています。ミャンマー出身のティンヤダナートンさん(通称ティンさん)は笑顔が素敵な26歳。真面目で素直、覚めも早く一生懸命働いてくれると、仲間からも評判です!

しみず認定こども園の給食室から



先輩と一緒に確認作業
 文字も言葉も練習中。覚えが早いと評判です。



ティンさん



ティンさんからひと言
 日本での生活は楽しいです。みんな優しくしてくれて嬉しい。でも、家族と離れてとても寂しいです。離乳食やアレルギー食の対応をしっかり覚えておやつの盛り付けを安心して任せてもらえるように頑張ります。



別のお鍋で離乳食、アレルギー食を調理します

カレーはルーから手作り。ベジメソールソースを加えていきます。

本日のメニューは、シーフードカレー
 (下は離乳食)



副菜のサラダづくり



大きなお鍋を洗います。